

ビデオ 通信

2016 年
2 月 11 日 (木)
No.3955

60TH ANNIV.

SINCE 1956

月・木曜日発行
1ヶ月¥11,000 (税別)
発行：飯澤 剛 編集：齋藤 浩一

ユニ通信社

〒106-0047
東京都港区南麻布 5-2-37
DEPECHE MODE 1F
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

デジタル・ガーデン

英・MPC 社とリモートビューイングサービスで提携 海外テイストのグレーディングサービスを提供

(株)デジタル・ガーデン (DGI) はこのほど、英国ロンドンに本社を置く VFX スタジオである MPC (The Moving Picture Company) と国際的業務提携を結び、リアルタイムのセッションでカラーグレーディングを可能にする「リモートビューイング」サービスを開始する。DGI では他社との差別化として、海外テイストのあるクオリティの高いグレーディングサービスを提供していくことを目的に、これまでも米国の DI ポストプロダクションである Company 3 との提携や、海外から専任のカラリストを招聘してきた。今回の提携により、これまで以上に幅広いカラリストとのコラボレーションを可能としていく。



2 月 2 日に実施したリモートビューイングの様相 (DGI の Bay-304)。ロンドン・MPC のグレーディングルームとネットワークし、リアルタイムでセッションしながらグレーディングルームを行うもの。作品は DGI 自主制作の『CAPTURED』で、MPC のカラリスト・Richard 氏が担当した。

MPC の 5 人のカラリストとコラボレーション

Technicolor の子会社である MPC は、CM や映画、ミュージックビデオ等の VFX や 3DCG を制作するクリエイティブスタジオで、英・ロンドンのほか、パリ、ニューヨーク/ロサンゼルス、バンクーバー/モントリオール、アムステルダム、メキシコシティ、バンガロール、上海に拠点を置く。最近の映画作品では『白鯨との闘い』『オデッセイ』『007 スペクター』『ターミネーター：新起動/ジェニシス』『GODZILLA ゴジラ』などが挙げられ、『ライフ・オブ・パイ/トラと漂流した 227 日』では 2013 年にアカデミー賞視覚効果賞を受賞している。また、広告においてはサムスン、コカ・コーラ、Nike、ソニー、Intel、Dell といった企業のテレビ CM やキャンペーンを手がけている。

MPC との国際的業務提携のキッカケは、2015 年 4 月に Technicolor 社のグローバル担当者が視察のため来日、5 月には MPC の CEO である Mark Benson (マーク・ベンソン) 氏が来訪し、国際的なりリモートセッションに実績のある DGI を評価したことにあるという。2016 年 1 月 7 日に正式に業務提携を結んだもので、Mark Benson 氏は「デジタル・ガーデンとのリモートビュー

DGI とのリモートビューイングサービスに参加する MPC ロンドンのカラリストは次の各氏。

▽ **Jean-Clément** (ジェーン・クレメント) = 『トランス』『マンデラ自由への長い道』(2013 年)をはじめとする映画作品を多く手がけ、多くの受賞歴を持つ。テレビ CM においてもジョン・ルイス監督のクリスマスキャンペーンシリーズや数多くの作品に携わってきた。

▽ **Matthieu** (マシュエ) = Digital District Paris で 12 年以上のキャリアを積んだ後、MPC に移籍。カンヌライオンズで金賞を受賞した『The Lover』を含む多数の CM 作品、映画、PV のグレーディングを担当する。

▽ **George** (ジョージ) = カラリストとして 20 年のキャリアを持つ。PV のほかにドラマ、テレビ CM と担当分野を広げ、2014 年にはパロマ・フェイスの PV『Can't Rely On You』で英国ミュージックアワード最優秀カラリストに選出された。

▽ **Richard** (リチャード) = 2006 年にカラリストとしてのキャリアをスタートさせる。BMW、VISA、HONDA、Adidas を含む有名ブランドのテレビ CM を多数担当する。

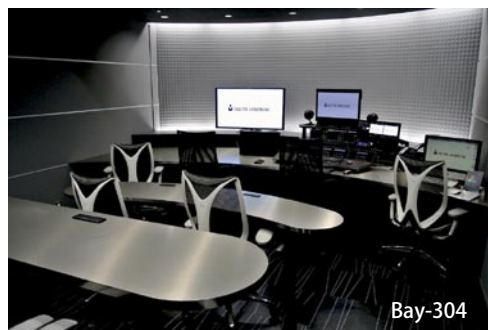
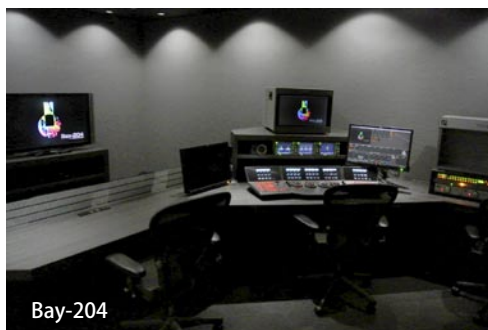
▽ **Kai** (カイ) = カメラマンとしての経験と技術を活かし、テレビ CM、映画、PV など幅広く担当。2015 年には British Arrow Craft Awards の最優秀カラリストにノミネートされた。

イングにおける提携により、MPC および Technicolor のクリエイティブなグローバルネットワークをさらに強化できることを嬉しく思います。日本の広告業界は非常に活気があることで知られており、我々もより深く、強い結びつきを持ちたいと考えていました。多くの受賞歴を誇る我々のカラリストを、日本という新たな市場に紹介できることを、とても楽しみにしています。デジタル・ガーデン 代表取締役社長の足立晋一氏は〈映画をはじめ CM など映像制作業界においてワールドワイドに活躍している MPC および Technicolor とのクリエイティブワークは、必ずや皆さまのご期待に応え、結果を出すものと信じています〉とするコメントを発表している。

柔軟なコミュニケーションでの確な色彩表現

DGI では 2008 年秋に Company 3 と業務提携し、「リモートテレシネ」サービスを実施している。国際間／都市間の距離を無くし、CM・テレビ・映画制作に必要なコミュニケーションをシームレス化するもので、2008 年のサービス開始以来、年間約 80 作品のプロジェクトを実施してきた。さらに、同社にはエストニア人のカラリストであるマックス・ゴロミドフ氏が在籍している。

取締役の島崎裕嗣氏は〈海外テイストのあるクオリティの高いグレーディングサービスを継続的に提供していくものです。グレーディング作業を行う拠点は固定せず、作品に応じて優秀なカ



ラリストとリモートでセッションするというスタイルは、欧州やハリウッドでは既に当たり前のように入り込まれています。国際間でのリモートでは回線費用などある程度の予算が必要ですが、世界的な技術とセンスを、より身近に利用していただける良い機会であり、これまで国内のクライアントからも高い評価をいただいています。Company 3 のグレーディングが“ハリウッド風（映画っぽい）”とするならば、MPC は“ヨーロッパ調”で、作品リールを見てみると、やはりその



通訳およびコーディネイトを担当する菅田大樹氏（左）と佐藤智美氏

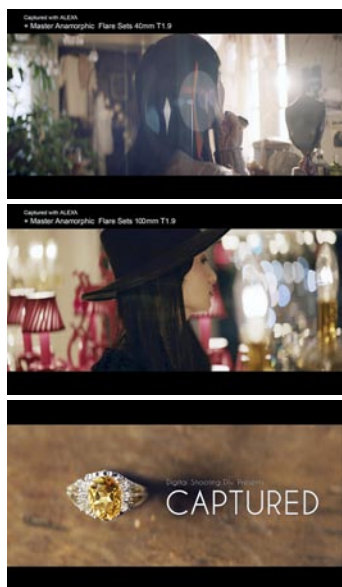
テイストは全く異なります。車やビューティ、食料品まで多岐にわたるジャンルの作品で、色の使い方がとても面白く、お客さまにはまたひと味違う海外トーンを紹介できるでしょう」としている。

海外とのリモートセッションで通訳およびコーディネイトを担当するのは、Business Service Dept. Global Service の佐藤智美氏と菅田大樹氏の 2 人だ。佐藤氏は「確かに色使いに関する言葉は、曖昧な表現で難しいかもしれませんが、監督やカメラマンの意図を注意深く読み取り相手に伝えることで円滑に作業を進められると考えています」、菅田氏は「何が求められているかを柔軟に把握し、意図を理解していくことで、的確な伝え方ができると思います」としている。

島崎氏は「海外とのセッションで一番心配されるのはコミュニケーションかもしれませんが、Company 3 カラリストやマックスとの豊富な作業経験を積んだスタッフによる的確なサポートで作業に集中できると思います」とする。

* * *

2 月 2 日には、ロンドン・MPC のグレーディングルームと東京・DGI のグレーディングルーム「Bay-304」間で、リモートビューイングによる DGI 自主制作の『CAPTURED』のグレーディングを行った。グレーディングを担当したのは Richard 氏で、MPC では FilmLight 社の Baselite 導入のグレーディングルームで作業を行った。



『CAPTURED』（←写真）は、DGI の Digital Shooting Div. が国内初導入となるマスターアナモフィックフレアセットを使用し撮影されたもので、従来のマスターアナモとは違う柔らかなトーンと美しいフレアを収録したオリジナル作品。フレアセット有り／無し／マスタープライムの 3 レンズの比較などを収録して、フレアの違いやシネマチックなボケ味を確認できる。なお、作品は同社 Web サイトで公開している。

◇(株)デジタル・ガーデン <http://www.dgi.co.jp/>

本社：東京都渋谷区恵比寿 2-36-13 広尾 SK ビル 2・3F

TEL03-5791-2215

プラザ：東京都渋谷区広尾 5-6-6 広尾プラザ 7F

TEL03-5791-5885